学校番号	415

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術２」　（光村図書出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」と「鑑賞」の分野について学習します。
・基本はものをよく見ることです。一面的でなく、様々な方向や角度から見ることです。離れて全体を見たり、部分を拡大してみたり、構造を見たりすることです。そして見たことをもとに、どのように表現するか考えることです。意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表すことが大事です。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表わしている。	・造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し 創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、自己調整しながら粘り強く取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	オリエンテーション	「鑑賞」 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し多様な表現形式について学び「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。	a:美術作品などの良さや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b:造形的な特徴を基に、全体のイメージ、作風や様式などで捉えることを理解している。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習意欲を高めている。	ワークシート	授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート 鑑賞活動の様子
	デザイン「構成美の要素」	「デザイン」「鑑賞」 ・構成美の理解 シンメトリー、レビテーション等構成美の要素を構成する。 ・図案の制作 ケント紙にポスターカラーで着色する。 ・相互鑑賞 ・レポート作成	a: 表現意図を理解し、効果的に表現する。 b: 感性や想像力を働かせて創意工夫した構成をする。 c:「構成美」についてデザインの美しさや表現方法に関心を持つ。	授業観察 ワークシート 提出作品	授業観察 ワークシート 制作途中の作品 レポート	授業観察 鑑賞活動の様子 レポート
	デザイン「レタリング・ポスターの制作」	「デザイン」「鑑賞」 ・美しい文字やレタリングについて理解し表現する。 ・アイデアスケッチ テーマに沿ったオリジナルデザインを考える。 ・図案の制作 ケント紙にポスターカラーで着色する。 ・相互鑑賞	a: 文字の美しさや機能について理解し、目的に合った作品の美しさや働きについて理解を深める。 表現技法を身につけるだけでなくポスターカラーなどの用具の生かし方などを工夫して表現する。 b: レタリングを理解し美しい表現のための発想や構想を練る。ポスター表現の構成をする。 c: レタリングを理解しようとする意欲と美しい表現に関心を持つ。ポスターを目標とした文字のデザインに意欲を持つ。	授業観察 アイデアスケッチ 提出作品	授業観察 アイデアスケッチ 制作途中の作品	授業観察 振り返りシート

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
二学期	絵画「人物画・模写の制作」	「絵画」「鑑賞」 ・スライドの鑑賞 ・デッサン 木炭でおよそのあたりをつけ構図の検討をおこなう。 ・制作 構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追求し、表現を深める。 ・相互鑑賞	a: 木炭、油絵具やペインティングナイフなど用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 b: 他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解している。 c: 模写について理解し、関心を持って取り組む。表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 制作途中の作品 提出作品	授業観察 制作途中の作品	授業観察 鑑賞活動の様子 振り返りシート
	彫刻「野菜の彫刻」	「彫刻」「鑑賞」 ・スライドの鑑賞 立体作品を鑑賞し、制作に対する関心を持つ ・アイデアスケッチをしながら表現の構想をまとめる。 ・制作 構想を基に、表現の目的や意図に応じて粘土や用具の特性、効果を生かしたり、より効果的な表現方法を工夫したりしながら制作する。 ・相互鑑賞	a: 粘土や彫塑用ナイフなど用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 b: 表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 b: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。 c: モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 提出作品	授業観察 アイデアスケッチ 制作途中の作品	授業観察 アイデアスケッチ 振り返りシート

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
三学期	「絵画」ドライポイントの制作	「絵画」「鑑賞」 ・スライドの鑑賞 様々な版形式を理解するとともに、ドライポイント版画の技法を理解する。 ・アイデアスケッチ テーマに沿った下絵を考える。 ・ニードルでの彫り 構想を基に、表現の目的や意図に応じて、より効果的な表現方法を工夫したりしながら制作する。 ・刷り 印刷の工程を理解し、インクのふき取り、プレス機の操作を慎重におこなう。 ・相互鑑賞	a: ドライポイントの表現方法について理解したうえで、用具の生かし方を創意工夫して表現する。 b: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。 b: 資料から発想して、ドライポイントのよさを感じ取り、工夫しつつ構想する。 c: 様々な版形式を理解するとともに、ドライポイントに関心を持ち、目的に合った図案の発案をし、表現の仕方に工夫を持って取り組む。	授業観察 ワークシート 提出作品	授業観察 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品	授業観察 アイデアスケッチ 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度